

国際医療福祉大学成田病院ドクターが解説

知っておきたい医療知識

28

減量・代謝改善手術

内科的治療で十分な効果が得られない場合、「減量・代謝改善手術」が選択できます。適応は体格指数(BMI)が35以上で、6か月以上の内科的治療でも十分な減量効果が得られない高度肥満症で、糖尿病、高血圧、脂質異常症、睡眠時無呼吸症候群のうち1つ以上を合併している方。またはBMIが32以上35未満の患者

手術の実際

2014年

肥満(3) 肥満症の外科手術

栄養士、理学療法士などの知識と経験を

より、腹腔鏡下袖状胃切除術(SG)が保険適用となり

りました。この手術は胃の外側を切除し

て、バナナ1本分程度の細長い形状に胃を形成します(下図)。胃が小さくなることで食事が減

26%と報告されており、現在使用可能な薬剤よりもかなり高い効果が期待できます。当院でも平均30kgの減

持った多職種によるチーム医療が必要です。高齢者に適応拡大

肥満手術は18歳〜65歳の

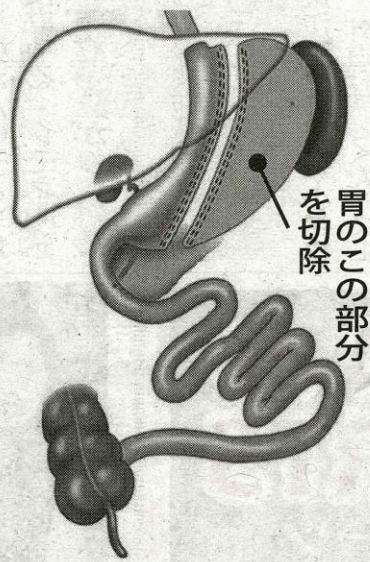


たけもと みつる 国際医療福祉大学成田病院

糖尿病・代謝・内分泌内科部長(予防医学センター長) / 同大学医学部糖尿病・代謝・内分泌内科教授(代表)

少し、さらに食欲増進ホルモン分泌が減少して食欲抑制ホルモン分泌が増加

【袖状胃切除術】



胃のこの部分を切除

同院ホームページから

量効果があり、糖尿病のお薬を止めることもできました。一方、手術には合併症のリスクが伴いますので、適応については慎重に判断する必要があります。

多職種連携で支える治療

外科治療を受けられる高度肥満症の患者さんは、様々な代謝疾患だけでなく心の病も併発している方が多く、内科、精神的・心理的サポート、専門看護師、栄養士、理学療法士などの知識と経験を

年齢制限がありました。65歳以上であっても安全であり、減量効果も若年者に比べて遜色ないことが明らかになり、今後は、65歳以上の方にも適応拡大となります。ただし、高齢者についてはサルコペニアやフレイルを考慮する必要があり、より慎重な適応判断が求められます。一方、手術による減量により、高齢者の日常生活の活動度や生活の質の向上が期待できます。当院では今後も医学的に減量が必要な患者さんをサポートしてまいります。

国際医療福祉大学成田病院

0476-35-5600 (代)

<https://naritahospital.iuhw.ac.jp/>

所在地 / 成田市畑ヶ田 852

アクセス

車の場合: 「太平洋クラブ成田コース」から約1分

バスの場合: JR成田駅5番のりばから路線バス約15分